

# 計画の推進にあたって

## 1 将来にわたり持続可能な行財政運営

不透明な社会経済情勢の中、環境の変化に対応するとともに、市民サービスを安定的に提供するためには、将来にわたり持続可能な行財政運営を行うことが必要です。

本計画で掲げる未来の千葉市の実現に向け、より具体的な事業内容を示す実施計画では、行政改革推進指針や中期財政運営方針などと連携し、行政運営の効率化や財政の健全性の維持・向上を図りながら、持続的発展に向けたまちづくりを着実に推進します。

また、質の高い行政サービスを持続的に提供し、多様な行政ニーズに応えるため、行政のデジタル化を推進するとともに、民間活用を含めた、施設の管理運営の効率化や計画的保全による維持管理コストの縮減、利用状況を考慮した施設総量の縮減、更新時における施設規模の適正化や集約化・複合化の検討など、資産経営とまちづくり双方の視点を含む経営的な視点に立った公共施設の適正管理を推進します。

さらに、本市の現状や将来展望に関して、市民との積極的な情報共有を図るなど、透明性の高い行財政運営を進めます。

## 2 計画の進行管理及び評価

本計画のまちづくりを推進するとともに、取組みの効果を高めるため、データに基づき、進捗状況の管理及び評価を実施します。

実施計画の終了時に行う政策評価においては、取組みの進捗状況やアンケートにより把握する市民の実感などを踏まえ、基本計画のまちづくりの評価と課題の抽出を行うとともに、取組みの改善につなげます。

これに加え、実施計画においては、毎年度行う進捗管理により事業の達成状況を把握することで改善を図るとともに、地域情報の可視化や市民意見の分析などデータを活用しながら、社会変化や施策推進上の課題を把握し、施策の検証、機動的な意思決定を行うことで、迅速に必要な施策に取り組んでいきます。